

平成26年度

小金井市教育委員会の権限に属する事務の  
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

(評価対象：平成25年度事業)

小金井市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条において、教育委員会自らが、毎年、教育委員会における活動状況の点検及び評価を実施することが義務付けられています。

また、点検及び評価に当たっては、有識者からの意見聴取、報告書の作成、議会への提出、公表を行うこととされています。

小金井市教育委員会は、教育目標及び基本方針の実現に向け、「明日の小金井教育プラン」と「生涯学習推進計画」に基づいて推進する「教育施策」に係る主な事業（65事業）について「点検及び評価シート」を作成し、有識者からいただいた貴重なご意見を踏まえ、本年度の評価報告書を作成しました。

なお、今年度も、昨年までの有識者からのご意見を受け、シートの変更、評価の方法について改善をしています。次年度以降についても、継続して充実を図ってまいります。

小金井市教育委員会

# 目 次

小金井市教育委員会の教育目標	1
小金井市教育委員会の基本方針	2
平成25年度教育施策	3
教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係	9
平成26年度 点検及び評価対象事業	10
平成26年度 評価基準	11
点検及び評価表（学校教育）	12
1 概要	12
2 評価結果総括	12
3 評価表	13
点検及び評価表（生涯学習）	32
1 概要	32
2 評価結果総括	32
3 評価表	33
平成26年度 点検・評価に関する有識者の意見	47
参考資料	50
1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	50
2 小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について の点検及び評価の実施に関する要綱	50
3 平成25年度教育委員会運営状況	51
4 平成25年度小金井市立小・中学校 学校行事・連合行事等日程表	57

## 小金井市教育委員会の教育目標

小金井市教育委員会は、子供たちが幅広い知識と教養を身に付けるとともに、道徳心にあふれ、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の生命と人格を尊重し、礼儀正しく思いやりのある人
- 社会のルールを身に付け、社会貢献に努める人
- 自ら学び考え続ける、個性と創造力豊かな人

の育成に向けた教育を推進する。

また、すべての市民が生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合い、互いに高め合うことを目指していく。

そして、家庭、学校及び地域のそれぞれが役割と責任を果たしながら、相互の連携と協力による教育を推進する。

(平成20年1月24日 小金井市教育委員会決定)

## 小金井市教育委員会の基本方針

### 【基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】

すべての子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

### 【基本方針2 「個性」と「創造力」の伸長】

国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子供たち一人一人の豊かな人間性を育成することが求められる。

そのために、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

### 【基本方針3 「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立】

子供たちに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、思考力・判断力・表現力等を育成することが求められる。

そのために、教員の授業力向上を図るとともに、保護者や地域に信頼される魅力ある学校づくりを目指した学校経営を支援する。

### 【基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興】

市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようになるとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

(平成24年2月14日 小金井市教育委員会決定)

## 平成25年度教育施策

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」を実現するための「明日の小金井教育プラン」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 1 小金井らしさの醸成

#### (1) 特色ある教育

- ① 校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、家庭、学校、地域が連携・協力した特色ある教育活動を推進する。
- ② 豊かな感性を磨き、健全な心を育むために、連合音楽会や連合作品展などを開催し、情操教育を推進する。
- ③ 学校等における安全管理を徹底し、災害時の被害を最小限にするため、災害発生時の避難経路や緊急時の対応の確認などの安全点検を実施するとともに、児童・生徒等への防災教育と教職員の意識向上等を図る。
- ④ 毎月の安全指導日やセーフティ教室の取組を充実させ、特に児童・生徒の危機回避能力を高め、犯罪被害の未然防止を図る教育を充実させる。
- ⑤ 保護者や地域住民との一層の連携を図り、登下校時の見守りや、スクールガードの取組を推進し、通学路や学区域内での児童・生徒の安全確保に努める。
- ⑥ 就学前教育から小学校教育へ円滑な接続を行うために、幼稚園や保育所と小学校が相互にそれぞれの特性等について正しく理解し合い、連携を強化していく。
- ⑦ 教職員に自己の職責の重大さを自覚させ、職責遂行のためサービスの厳正を図る。

#### (2) 人権教育

- ① 教育活動全体を通じ、人権尊重の理念の定着を図るために人権教育を一層推進し、偏見と差別のない好ましい人間関係を確立する。
- ② 子供、女性、高齢者、障害者、同和問題、外国人、その他の人権問題などの様々な人権課題にかかわる差別意識の解消を図るための教育を推進する。
- ③ 小金井市子どもの権利に関する条例リーフレット、人権教育プログラム、等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。
- ④ 小金井市男女平等基本条例の男女両性の本質的平等の理念に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重されることを児童・生徒に理解させ、その具現化を図る適正な男女平等教育を推進する。

#### (3) 社会貢献活動

- ① 社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教師の適切な指導のもと、自然体験学習等の体験活動や社会体験活動、ボランティア活動など社会貢献の活動の充実に努める。
  - ② 児童・生徒一人一人が人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境を大切にする心と、環境問題や環境保全に主体的にかかわることができる能力や態度を育成する。
- (4) 伝統・文化理解教育
- ① 国際社会の中で活躍し、わが国の発展に貢献できる人材を育成するために、小・中学校に外国人英語指導助手を派遣するなど、コミュニケーション能力を育む教育を推進する。
  - ② 日本や世界の文化・伝統に触れる機会の充実に図り、郷土小金井に対する愛着や誇りを育て、多様な文化に対する理解を深め、国際的視野を広める教育を推進する。
- (5) 体験活動
- ① キャリア教育の視点に立ち、職場体験学習や農業体験学習、その他の勤労体験学習を拡充し、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実に図る。
  - ② 宿泊体験活動を行うことによって子供たちの社会性や豊かな人間性を育む。
- (6) 家庭教育
- ① 中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、学校生活や家庭生活における課題を明らかにし、その解決方法について示す。

## 2 知育・徳育・体育の推進

### (1) わかる・できる・活かす授業

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用する問題解決型の学習を取り入れることで思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また個に応じた多様な指導の一層の充実に図る。
- ② 学生ボランティア等を活用し、授業の指導補助、放課後や夏季休業日等の補充学習を実施するなど、確かな学力の充実に図る。
- ③ 「わかる・できる・活かす」授業を展開するために、年間授業計画の充実に、授業改善推進プランの作成・活用、児童・生徒による授業評価の実施、校内研修の充実に図る。
- ④ 「わかる・できる・活かす」授業改善研究指定校を定め、授業力向上に関する先進的な研究を行い、その成果を市全体に広める。
- ⑤ 教職員の職務の専門性や実践的指導力、幅広い識見を一層高め、授業力をより一層向上させるために、教職経験に応じた研究・研修の充実に図る。
- ⑥ 学習指導要領に基づいた年間指導計画の適正な作成と実施の徹底及び評価の充実に図る。

### (2) 読書活動と学校図書館

- ① 「小金井市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館補助員を派遣するとともに、目的をもった読書活動を推進し、読書習慣を身に付けさせ、自ら進んで学習する意欲と態度を養う。
- (3) 情報教育
  - ① 情報教育アドバイザーの派遣や近隣の大学との連携を通して情報教育及び教科指導におけるICT活用を推進する。
- (4) 科学教育
  - ① 地域の大学や研究機関等との連携を図り、小学校理科支援員を派遣するなどして観察・実験補助に活用するなど理科・科学教育を推進する。
- (5) 道徳教育
  - ① 児童・生徒が、自他をいつくしみ、命や自然を大切にするなど、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。
  - ② 学校の全教育活動において道徳教育を充実させ、児童・生徒一人一人が、道徳心や公共心を育み、礼儀正しく生活するための支援を行う。
  - ③ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進や道徳授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井において共に生きる子供を育成する。
- (6) 体力の向上
  - ① 児童・生徒が積極的に運動やスポーツに親しみ、心身共に健やかな成長を遂げることができるよう一校一取組運動や小金井市小中学生マラソン大会を推進するなど、体力の向上に努める。
  - ② 健全な食生活に向けた食育を推進し、生命の大切さや心身の健康についての正しい認識をもつことができるように指導の充実を努める。
  - ③ 関係機関と連携した保健教育を推進し、健康で安全な生活を送る能力や態度の育成を図る。
  - ④ 性にかかわる指導を進めるに当たっては、児童・生徒の発達段階を踏まえ、適切な理解や好ましい人間関係などについての指導の充実を努める。
- (7) 特別支援教育
  - ① 学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒が個々の教育ニーズに応じた指導を受けられるように各学校のコーディネーターの育成や校内委員会の実施を支援するとともに、巡回相談や巡回指導などを通して、特別支援教育の充実を図る。
  - ② 特別支援教育支援員を配置し、学校における日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童生徒への支援をさらに充実させる。
  - ③ 障害のある人との相互理解を深め、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶための交流教育の充実や副籍制度に基づいた交流及び共同学習の推進に努める。
  - ④ 特別な支援を必要とする子供のライフステージに応じた効果的な



支援を実現するために、特別支援教育研修会や市民等を対象とした講演会をもとに特別支援教育を推進する。

### 3 教育環境の整備

#### (1) 新しい学校評価

- ① 小金井市公立学校運営連絡会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、開かれた学校づくりを一層推進する。
- ② 学校評価を適切に行い、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効率的で透明性の高い学校運営を推進する。
- ③ 市教委訪問、指導室訪問、都教委訪問などの学校訪問を行い、学校教育活動の充実を図る。
- ④ 地域の人材等を活用した学校支援体制の整備のための実践的研究を進める。

#### (2) 情報環境

- ① 教育用コンピュータ、デジタルテレビ、校内LANなどの効果的な活用を支援し、子供たちに質の高い教育環境を整備する。

#### (3) 教育相談・適応指導

- ① いじめや暴力行為等、児童・生徒の多様な問題の解決に向け、早期発見・早期対応ができる学校内の体制づくり、未然防止や保護者・関係機関との連携等の取組を充実する。
- ② いじめ、不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの派遣など学校の相談機能を充実させ、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒、保護者等に対する相談体制の充実を図る。
- ③ スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを活用して、児童虐待や家庭の状況に起因する問題行動等の未然防止及び解決を図る。

#### (4) 学校施設

- ① 学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器などの教材・教具、図書などを充実させるとともに有効活用努める。
- ② ゆとりと潤いのある教育環境づくりのため、校庭等の緑化などに努める。

### 4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

#### (1) 生涯学習の推進

- ① 市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう、生涯学習施策を推進する。
- ② 学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。
- ③ 地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携

- して生涯学習施策を推進する。
- ④ 退職前後の中高年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。
  - ⑤ 市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。
- (2) 青少年教育の推進
- ① 家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。
  - ② 子供たちの安全安心な居場所づくりとして、学校、家庭、地域と一体となって実施している「放課後子ども教室」事業の充実を図る。
  - ③ 清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育んでいくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。
- (3) スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ① 幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。
  - ② 誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。
  - ③ スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。
  - ④ 楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。
  - ⑤ 今年度開催されるスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）弓道競技・バスケットボール競技を多くの市民の参画により、その英知と総力を挙げて魅力と感動あふれる大会にする。
- (4) 文化財の保存と啓発活動の推進
- ① 貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。
  - ② 市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編を「小金井市史編さん年次計画」に基づき、順次刊行する。
  - ③ 市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。
  - ④ 史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。また、老朽化した歩道橋を撤去して景観にふさわしい人道橋への架け替えを行い、史跡・名勝の価値の向上を図る。

(5) 公民館の充実

- ① 誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。
- ② 公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。
- ③ 事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。
- ④ 主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。
- ⑤ 市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。
- ⑥ 広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。
- ⑦ 平成26年度開館予定の（仮称）貫井北町地域センター公民館貫井北分館開設に向けて、準備を進めて行く。また、運営体制についても検討を行う。

(6) 図書館の充実

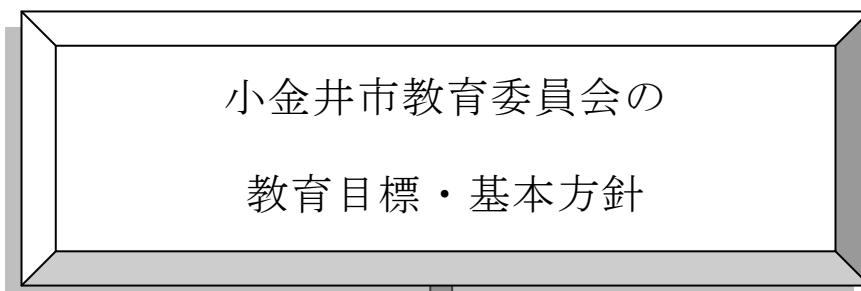
- ① 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」利用できる図書館運営に努める。
- ② 新しく改訂される「小金井市立図書館運営方針」に基づき、図書館施策を推進して行く。
- ③ 平成26年度開館予定の（仮称）貫井北町地域センター図書館貫井北分室開設に向けて、準備を進めて行く。また、運営体制についても検討を行う。
- ④ 子供の読書活動推進のため、平成25年度で計画が終了する「第2次小金井市子ども読書活動推進計画」について、引き続き「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」に繋がるよう準備に着手する。
- ⑤ 図書館の利便性向上のため、市民用インターネット端末の設置、電子図書の導入、様々なデータベースの提供、資料用ICタグの導入などのICT化推進について検討を進める。

(7) 社会教育施設の整備

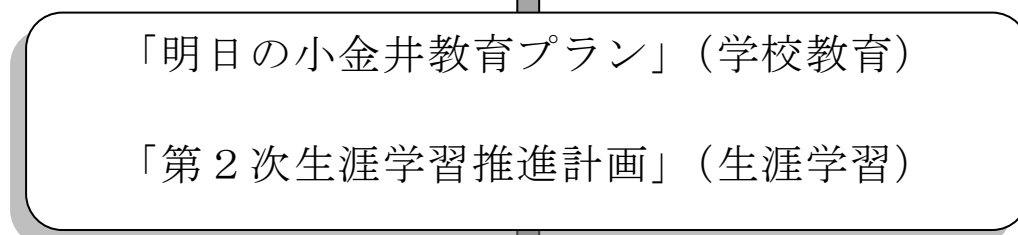
- ① 市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。
- ② 市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。
- ③ 公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。
- ④ 平成26年度開館予定の（仮称）貫井北町地域センターについて、平成24年度に引き続き、建設工事を実施する。
- ⑤ 震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。

# 教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係

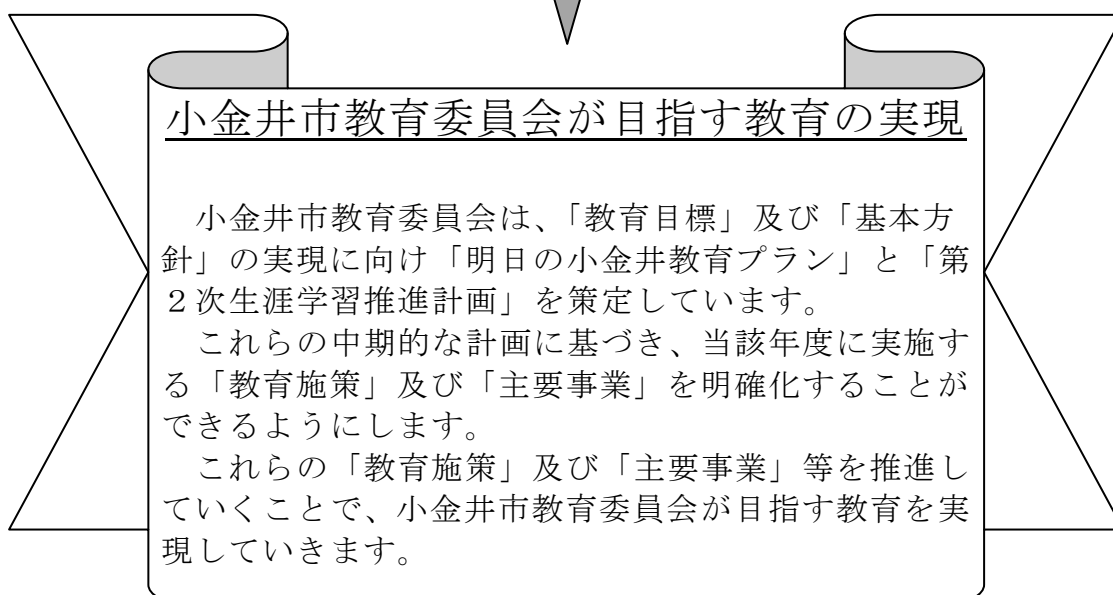
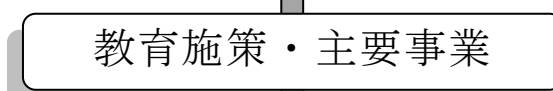
○理念的な原理・原則



○中期的な計画



○当該年度の短期的な計画  
(毎年度策定)



# 平成26年度 点検及び評価対象事業 (H25)

【学校教育】		事業番号	点検及び評価対象事業名	担当	優先順位	その他の主な事業	担当	
1	小金井らしさの醸成	小金井市教育委員会の基本方針（平成24年2月14日） 基本方針1・2・3	平成25年度教育施策	(1) 特色ある教育	1 特色ある教育活動発表会の実施	指導室	A 教育フォーラム	指導室
				(2) 人権教育	2 男女平等教育の推進	指導室	A 人権尊重教育推進校	指導室
				3 子どもの権利に関する条例の学校への周知	指導室	A 人権教育推進委員会	指導室	
				(3) 社会貢献活動	4 ボランティアカードの活用	生涯学習課 指導室	B ボランティアカード作成	指導室
				5 ボランティア活動の表彰と紹介	指導室	B アクション月間C02削減	指導室	
				(4) 伝統・文化理解教育	6 「小金井市の歴史散歩」の配布	生涯学習課 指導室	B 小学校外国語活動推進委員会	指導室
				7 「こがねい郷土かるた」の普及	生涯学習課 指導室	B 中学校ALT運営委員会	指導室	
				(5) 体験活動	8 三宅島との交流	指導室	C 中学校職場体験	指導室
				(6) 家庭教育	9 家庭学習のすすめの作成	指導室	B 中学生保護者向け資料「ハートコ ンタクト」作成	指導室
				10 保護者向け資料の作成	指導室 生涯学習課	B		
				(7) わかる・できる・活かす授 業	11 授業力向上研修会	指導室	B 学生ボランティア派遣	指導室
				12 授業公開等の充実	指導室	A 授業改善推進プラン作成	指導室	
				13 子供の学習に関する実態把握	指導室	A わかる・できる・活かす授業改善 研究推進校	指導室	
				14 体験活動の充実	指導室	A 少人数指導授業改善推進委員会	指導室	
				15 補習授業等の充実	指導室	A 学校読書活動推進委員会	指導室	
				(8) 読書活動と学校図書館	16 「小金井市学校読書活動推進月間」の設定	指導室	B 学校図書館補助員派遣	指導室
				17 学校図書館補助員の配置と読書活動の充実	指導室	C 学校図書館補助員派遣	指導室	
				(9) 情報教育	18 情報モラルの向上	指導室	A	
				19 情報活用能力向上のための研修会の実施	指導室	A		
				10 科学教育	20 近隣大学等の連携	指導室 生涯学習課	B 理科支援員派遣	指導室
				21 理科支援員の配置	指導室	A 大学との共同研究（コソージム）	指導室	
				(11) 道徳教育	22 家庭や地域と連携した道徳教育の推進	指導室	A 道徳教育推進委員会	指導室
				23 道徳副読本の配布	指導室	B 道徳授業地区公開講座	指導室	
				(12) 体力の向上	24 一校一運動の推進	指導室	A 体力向上推進委員会	指導室
				25 体力調査の実施	指導室	B 小金井市小中学生マラソン大会	指導室	
				26 食育の推進	学務課 指導室	C スポーツ教育推進校	指導室	
				(13) 特別支援教育	27 特別支援教室の確保	庶務課 学務課 指導室	B 特別支援学級推進委員会	指導室
				28 特別支援学級の増設	庶務課 学務課 指導室	A 特別支援専門・巡回相談	指導室	
				29 特別教育支援員の配置	指導室	A 特別支援学習指導員配置	指導室	
				14 新しい学校評価	30 学校評価の推進	指導室	C 学校関係者評価	指導室
				(15) 情報環境	31 情報教育アドバイザー派遣の充実	指導室	C ICT活用教育推進委員会	指導室
				32 コンピュータ管理業務者派遣の充実	指導室	A コンピュータ教育研修会	指導室	
				33 教育用コンテンツ管理システムの構築	庶務課 学務課 指導室 図書館	C ICT支援員の派遣	指導室	
				(16) 教育相談・適応指導	34 スクールカウンセラー派遣の充実	指導室	C 教育相談推進委員会	指導室
				35 スクールソーシャルワーカーの派遣	指導室	A スクールカウンセラー連絡会	指導室	
				(17) 学校施設	36 特別支援学級の冷暖房設備の整備	庶務課 学務課	A 小学校施設整備	庶務課
				37 校庭の芝生化の推進	庶務課	A 中学校施設整備	庶務課	
				38 太陽光発電や風力発電の推進	庶務課	A 教材・教具・図書整備	学務課	
【生涯学習】		事業番号	点検及び評価対象事業名	担当	優先順位	その他の主な事業	担当	
2	知育・徳育・体育の推進	小金井市教育委員会の基本方針（平成24年2月14日） 基本方針4	平成25年度教育施策	(1) 生涯学習の推進	39 まなびあい出前講座	生涯学習課	成人の日記念行事	生涯学習課
				40 青少年のための科学の祭典	生涯学習課	心身に障害のある児童・生徒の地 域活動促進事業	生涯学習課	
				41 中近東歴史文化講座	生涯学習課	こがねい市民講師登録制度	生涯学習課	
				42 ボランティアセミナー	生涯学習課	社会教育関係団体補助事業	生涯学習課	
				43 団塊の世代のための地域参加講座	生涯学習課	思春期子育て講座	生涯学習課	
				(2) 青少年教育の推進	44 家庭教育学級	生涯学習課	自然体験教室	生涯学習課
				45 放課後子ども教室	生涯学習課	天体教室	生涯学習課	
				46 少年自然の家維持管理事業	生涯学習課	スポーツ教室・各種大会	生涯学習課	
				(3) スポーツ・レクリエーシ ョン活動の推進	47 市民体育祭	生涯学習課		
				48 体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業	生涯学習課			
				49 スポーツ推進委員事業	生涯学習課			
				50 スポーツ祭東京2013開催事業	生涯学習課			
				(4) 文化財の保存と啓発活動の 推進	51 文化財センター維持管理事業	生涯学習課	文化財保護審議会運営	生涯学習課
				52 市誌編さん活動	生涯学習課	文化財の管理公開	生涯学習課	
				53 古文書講座	生涯学習課	埋蔵文化財の保護事務	生涯学習課	
				54 名勝小金井（サクラ）復活プロジェクト	生涯学習課	古文書調査	生涯学習課	
				(5) 公民館の充実	55 青年国際交流講座「生活日本語教室」	公民館	公民館運営審議会運営	公民館
				56 ITサポート事業「こがねいパソコン相談室」	公民館	企画実行委員会運営	公民館	
				57 市民が作る自主講座	公民館	公民館研究大会運営	公民館	
				(6) 図書館の充実	58 ハンディキャップサービス事業	図書館	図書館協議会運営	図書館
				59 (仮称) 貴井北町地域センター図書館分室開設 事業	図書館	移動図書館車運行事業	図書館	
				60 図書館児童サービ事業	図書館	地域文庫補助金交付事業	図書館	
				(7) 社会教育施設の整備	61 総合体育館維持管理事業	生涯学習課	栗山公園健康運動センター維持管理	生涯学習課
				62 スポーツ開放・学校開放	生涯学習課	上水公園運動施設維持管理	生涯学習課	
				63 図書館維持管理業務	図書館	テニスコート維持管理	生涯学習課	
				64 公民館維持管理事業	公民館	校庭開放	生涯学習課	
				65 (仮称) 貴井北町地域センター建設事業	公民館			

## 平成26年度 評価基準

S	達成している	施策に沿って事業を進め、効果的な結果が得られ、当該年度目標及び事業目標を達成することができた。
A	概ね達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標を概ね達成したが、事業目標を達成するには至っていない。
B	ある程度達成している	施策に沿って事業を進め、当該年度目標をある程度達成したが、さらに現状を改善する必要が多分にある。
C	達成することに努力を要する	施策に沿って事業を進めてはいるが、当該年度目標を達成したとはいえ、また、現状について大きな課題がある。
D	着手していない	事業自体に着手できていない。

# 点検及び評価表（学校教育）

## 1 概要

学校教育では、小金井市教育委員会の基本方針及び明日の小金井教育プランに基づいた平成25年度教育施策を推進するための様々な事業を展開し、点検及び評価に当たっては、明日の小金井教育プランの重点施策である38事業を評価対象とした。

平成25年度については、全38事業中36事業についてA評価「概ね達成している」と評価した。

事業全体の9割以上がA評価となったことは、学校教育における事業が大きな問題なく推進できているものと評価する。

具体的に前年度の評価結果と比較すると、「校庭の芝生化の推進」は評価Aから評価Cとなった。これは1校の芝生化を目標としていたが、実際には芝生化の実施に至らなかったためC評価「達成することに努力を要する」とした。

また「太陽光発電や風力発電の推進」については、太陽光発電等の設備を導入することを目標としていたが、導入ができなかったため、昨年度と同様のC評価とした。

今後は、A評価の事業はS評価に、C評価の事業はまずはB評価にすべく、担当課が中心となり小・中学校、関係部局、関係諸機関と連携し、事業目標の達成に向けて課題の解決を図っていくこととする。

## 2 評価結果総括

	事業数	S	A	B	C	D
(1) 特色ある教育	1		1			
(2) 人権教育	2		2			
(3) 社会貢献活動	2		2			
(4) 伝統・文化理解教育	2		2			
(5) 体験活動	1		1			
(6) 家庭教育	2		2			
(7) わかる・できる・活かす授業	5		5			
(8) 読書活動と学校図書館	2		2			
(9) 情報教育	2		2			
(10) 科学教育	2		2			
(11) 道徳教育	2		2			
(12) 体力の向上	3		3			
(13) 特別支援教育	3		3			
(14) 新しい学校評価	1		1			
(15) 情報環境	3		3			
(16) 教育相談・適応指導	2		2			
(17) 学校施設	3		1		2	
合 計	38	0	36	0	2	0
内 訳 (%)		0%	95%	0%	5%	0%

### 3 評価表

特色ある教育活動発表会の実施							
事業番号	1	優先	A	担当	指導室		
事業内容	各学校で児童・生徒の実態や地域の実情に応じたり、創意工夫を生かしたりする特色ある教育、特色ある学校づくりを進めることで、小金井市の教育の活性化を図る。						
25年度目標	各校における特色ある教育活動の充実を図り、教育フォーラムにて特色ある教育活動の発表会を実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各校における特色ある教育活動の充実	実施	継続	継続	継続	継続	特色ある教育活動発表会の実施
25年度事業成果 (Do)	3校の中学校が特色ある教育活動についての研究発表会を行った。また、同様に教育フォーラムの場を活用し市民向けの発表を行った。市内全校の特色ある教育活動については保護者、市民、地域、教育関係者に対して紙上発表を行った。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	市内の学校が取り組む特色ある教育活動についての広報活動に努める。 市内各校の特色ある教育活動を発表する教育フォーラムを発展させ、特色ある教育活動発表会の一層の充実を図る。						

男女平等教育の推進							
事業番号	2	優先	A	担当	指導室		
事業内容	男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重され、対等な立場であらゆる活動に共に参画する男女共同参画社会の実現を図るために、学校の教育活動全体を通して男女平等教育を推進する。						
25年度目標	人権教育の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくし、人権課題にかかわる差別意識の解消を図り、男女平等教育を推進する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各校の人権教育年間指導計画への位置づけと人権教育推進委員会にて指導内容や指導方法について改善・充実	実施	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	いじめ問題等の人権課題に対し、各校が人権教育の年間指導計画の見直しを行い、人権教育推進委員会を中心に指導内容や指導方法の改善策について研究を深めることができた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	一人一人の子供が、自己の大切さとともに他者の大切さを認めることができる人権感覚や人権意識を高める人権教育を推進する。						



## 子どもの権利に関する条例の学校への周知

事業番号	3	優先	A	担当	指導室		
事業内容	「小金井市子どもの権利に関する条例」を学校に周知することで、人権教育を推進する。						
25年度目標	「小金井市子どもの権利に関する条例」リーフレットを活用し、学校への周知を一層進める。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレットの周知	実施	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	「小金井市子どもの権利に関する条例」リーフレットを校長会・副校長会・人権教育推進委員会で配布し、周知した。また、学校訪問資料に加え、指導室訪問を行った際に訪問校の全教職員へ周知した。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	「小金井市子どもの権利に関する条例」リーフレットを生かした学校向けの資料づくりを行い、学校訪問、委員会、教員研修の場で周知を図る。						

## ボランティアカードの活用

事業番号	4	優先	B	担当	生涯学習課・指導室		
事業内容	全中学生と小学校5・6年生にボランティアカードを配布し、ボランティア活動への参加意欲を高める。						
25年度目標	ボランティアカードを小学校5・6年生と中学生の全員に配布し、意識付けを行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	中学生用ボランティアカードの作成	検討	検討	検討	試行	試行	小学生・中学生用ボランティアカードの作成表彰
25年度事業成果 (Do)	ボランティアカードを配布し活用してきたことで、ボランティアの意識が高まり、積極的にボランティア活動に参加する児童・生徒が増えた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	ボランティアカードの利用案内書の作成や同カードを活用したボランティアへの参加計画を考えさせる指導などを通じて、小中学校における児童生徒の社会に貢献する心を一層育む。						

## ボランティア活動の表彰と紹介

事業番号	5	優先	B	担当	指導室		
事業内容	積極的にボランティア活動をしている個人やグループを紹介する機会として、表彰式を行う。						
25年度目標	ボランティア活動に取り組んだ個人やグループを小金井市児童・生徒表彰で表彰する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	個人やグループを小金井市児童・生徒表彰に推薦	検討	検討	検討	試行	試行	ボランティア活動発表会の実施
25年度事業成果 (Do)	学校内外における児童・生徒のボランティア活動を価値付け、積極的にボランティア活動に取り組む児童・生徒を表彰する児童生徒表彰の制度を学校に紹介した。そのことでボランティア活動に対する児童・生徒の意欲向上が図られた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	ボランティア活動に取り組んでいる個人やグループの活動を市報、教育委員会ホームページなどを通じて紹介する。その中から積極的に活動に取り組む個人やグループを表彰式で紹介することで児童・生徒の社会に貢献しようとする心を育む。						

## 「小金井市の歴史散歩」の配布

事業番号	6	優先	B	担当	生涯学習課・指導室		
事業内容	生涯学習部で作成した「小金井市の歴史散歩」を各学校に40部ずつ配布し、社会科や総合的な学習の時間の学習、道徳に活用し、郷土への理解を進め、郷土を愛する心を育てる。						
25年度目標	社会科副読本作成委員会で、地域の歴史学習における活用方法を積極的に検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	検討	実施	継続	「小金井市の歴史散歩」を各学校に配布
25年度事業成果 (Do)	「小金井市の歴史散歩」の内容から、小学校社会科副読本の資料として引用できるかを検討し、原稿作成時に活用することができた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	「小金井市の歴史散歩」を使った学習教材の開発と学習指導案の作成及び授業での活用に向けた研究を推進する。						

## 「こがねい郷土かるた」の普及

事業番号	7	優先	B	担当	生涯学習課・指導室		
事業内容	小金井の自然、歴史、文化、伝統芸能・工芸などを対象とした「こがねい郷土かるた」を普及し、郷土への理解を進め、郷土を愛する心を育てる。						
25年度目標	「こがねい郷土かるた」を活用した社会科授業や活動を検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	試行	充実	充実	各校の予選会勝者による「郷土かるた」中央大会の試行
25年度事業成果 (Do)	小学校社会科、国語科の授業において、こがねい郷土かるたを活用した授業の展開事例を紹介した。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	こがねい郷土かるたを積極的に授業で活用し、郷土愛を高めることを目標にした教育活動の効果を検証する。						

## 三宅島との交流

事業番号	8	優先	C	担当	指導室		
事業内容	小金井市と三宅島の友好都市盟約を活用し、三宅島の豊かな自然の中で様々な体験活動を行うとともに三宅島の子供との交流を通して豊かな人間性を育てる。						
25年度目標	三宅島の子供との交流方法と具体的な内容について検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	三宅島の子供との交流について検討	検討	検討	検討	検討	試行	三宅島の子供とのメール交換やインターネット会議の実施 三宅島での子供体験ツアー開催試行
25年度事業成果 (Do)	三宅島の子供が小金井市に来て行う交流について、交流校の決め方や交流内容について校長会と協議・確認することができた。						
評価 (Check)		B	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	三宅島の子供とのメール交換やインターネット会議の実施、三宅島での子供体験ツアー開催等について、予算や指導計画の内容について引き続き検討する。						

## 家庭学習のすすめの作成

事業番号	9	優先	B	担当	指導室		
事業内容	家庭学習の意義や、学習時間の目安、学習計画の立て方などを示した家庭学習のすすめ「小金井の子供の学習（仮称）」を作成し、家庭に向けた家庭学習の啓発や児童生徒の家庭学習の充実を図る。						
25年度目標	「小金井の子供の学習」の目的や内容、スケジュール等について具体的に検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	試行	充実	充実	小学校用、中学校用とも1年ごとに改訂し配布を実施
25年度事業成果 (Do)	平成25年度試行の「小金井の子供の学習」を作成し、夏休みの課題や家庭学習の在り方について協議した。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	小学校用、中学校用の家庭学習のすすめについて、小中学生の発達段階や系統性を考慮した指導規準について整理しまとめる。						

## 保護者向け資料の作成

事業番号	10	優先	B	担当	指導室・生涯学習課		
事業内容	小学生や中学生の学校生活や家庭生活における課題を示し、その解決方法について、各家庭に啓発する。						
25年度目標	「小学生版ハートコンタクト」作成の検討を重ねる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	「小学生版ハートコンタクト」作成の検討	検討	検討	検討	実施	継続	「小学生版ハートコンタクト」作成、配布
25年度事業成果 (Do)	中学生の保護者向け資料「ハートコンタクト」を参考に「小学生版ハートコンタクト」の内容や効果について検討を重ねた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	「小学生版ハートコンタクト」の作成、配布に向けた組織づくりや予算化についての計画を推進する。						

## 授業力向上研修会

事業番号	11	優先	B	担当	指導室		
事業内容	優れた指導力をもつ教員の授業を教員研修会や校内研究で参観し、よりよい授業を目指した研究協議会を実施し、授業力の向上を図る。						
25年度目標	優れた指導力をもつ教員を、若手教員研修や授業研究の講師として活用し、学校全体の授業力の向上を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	試行	試行	試行	優れた指導力をもつ教員を教育委員会が表彰
25年度事業成果 (Do)	優れた指導力をもつ教員を若手教員研修の講師としてかかわらせ、若手教員の育成を図るとともに指導者の育成についても推進することができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	各校の校内研修にかかわるOJTの推進計画に沿って、全教職員の授業力の向上を図る。						

## 授業公開等の充実

事業番号	12	優先	A	担当	指導室		
事業内容	地域に広く授業公開をすること、学校全体で研究授業を行い、「わかる・できる・活かす授業」のための協議会を行う機会を増やすことにより、教員の授業力の向上を図る。						
25年度目標	学校公開に合わせた授業参観の推進、授業力の向上を目指した校内研究・校内研修の充実を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	授業公開・研究授業の充実	充実	充実	充実	充実	充実	全教員が年1回研究授業を実施
25年度事業成果 (Do)	研究奨励校、「わかる・できる・活かす」授業改善推進校の研究発表等、授業改善のための先進的な研究を行い、市内全小・中学校へ、研究の成果を広めることができた。						
評価 (Check)	/	B	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	授業力の向上を第一に、全小・中学校で外部講師を活用した授業研究の機会を増やす。						

## 子供の学習に関する実態把握

事業番号	13	優先	A	担当	指導室		
事業内容	授業改善の推進に向け、「授業が楽しいか」、「勉強が好きか」など、子供の学習に関するアンケートを実施し、課題を明確にする。またよりよい授業を目指すため、教員が児童・生徒からの評価を受け、教員がその評価を分析し授業の改善に生かす。						
25年度目標	学力調査を生かし、学習に関する意識や定着の程度を把握するためのアンケートを行い子供の実態把握を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学習に関するアンケート・児童・生徒の授業評価の検討	検討	試行	実施	継続	継続	市で統一様式を作成し、実施
25年度事業成果 (Do)	全国学力調査と東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査を子供の意識調査として位置づけ、小金井市の学習状況の把握に取り組むことができた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	各調査から小金井市の子供の学習に関する実態を分析し、その結果をもとに授業改善を推進する。						

## 体験活動の充実

事業番号	14	優先	A	担当	指導室		
事業内容	鵜原海の移動教室や清里林間学校、地域での野外観察、校外学習等、体験活動の充実を図る。						
25年度目標	体験活動を年間指導計画の中へ、意図的・計画的に位置付け、一層の充実を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体験活動の充実	充実	充実	充実	充実	充実	充実
25年度事業成果 (Do)	各教科、総合的な学習の時間、学校行事の中に位置付けられた体験活動を見直し、児童・生徒の実態に即した活動の充実を図ることができた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	各校の特色ある教育活動と関連を図りながら、日常及び行事における体験活動の充実を図る。						

## 補習授業等の充実

事業番号	15	優先	A	担当	指導室		
事業内容	学生ボランティア等を活用した放課後の補習授業や、夏季補充学習やサマースクール等を行う。						
25年度目標	放課後や夏季休業日の補習学習・補充授業を行い、児童・生徒の基礎学力の定着を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	補習授業等の試行	充実	充実	充実	充実	充実	補習授業等の全校実施
25年度事業成果 (Do)	近隣大学生による学習補助、理科学習補助により、学習が遅れがちな児童・生徒の学力向上を図ることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	近隣大学、地域NPO団体等と連携し、学生ボランティア、地域ボランティアの学校支援活動の充実を図る。						

## 「小金井市学校読書活動推進月間」の設定

事業番号	16	優先	B	担当	指導室		
事業内容	各校で読書活動推進月間を設定し、この期間に児童・生徒の読書活動を推進する展示等を行う。また、夏休みの期間を活用し、「小金井市読書感想文コンクール」を実施する。						
25年度目標	学校読書活動推進委員会が中心となり、読書活動推進月間の実施内容や読書活動推進計画の改善について協議し、各学校の取組に反映させる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校読書活動推進委員会で検討	検討	検討	試行	充実	充実	読書活動推進月間の実施
25年度事業成果 (Do)	読書活動推進月間を各学校で指定し、図書館補助員を中心に、読書環境の整備や図書紹介等を充実させることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	学校読書活動推進委員会の中で、読書活動推進に向け効果のあった取組についての情報交換や共通理解を図り、実践事例等の形で各学校に発信する。						

## 学校図書館補助員の配置と読書活動の充実

事業番号	17	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校図書館補助員の配置日を拡充し、読書活動の一層の充実を図る。						
25年度目標	学校図書館補助員の配置日の拡充を検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校図書館補助員の配置拡充の検討	検討	検討	検討	検討	試行	充実
25年度事業成果 (Do)	図書館管理システムの導入に伴う学校図書館補助員の業務内容の見直しを行い、司書教諭や図書館担当教諭との打合せを重ねた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	学校図書館補助員の業務内容を再度整理し、拡充のための予算の検討を継続して行う。						

## 情報モラルの向上

事業番号	18	優先	A	担当	指導室		
事業内容	家庭・地域との連携の下、ICTの正しい使い方やインターネットやメールなどの利用に関するモラルやマナーを身に付けるための情報モラル教育の充実を図る。						
25年度目標	教員向け情報モラル研修を行ったり、セーフティ教室において関連企業と連携した情報モラル教室を実施したりする。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	教員対象に情報モラルの効果的な指導方法について研修会を実施。セーフティ教室等で、情報モラルについての公開授業を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	関連企業から外部講師を招き、教職員を含め、児童・生徒の情報モラル教育研修を実施することができた。						
評価 (Check)	/	B	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	東京都ファミリールール講座の実施を計画する。 各学校において、サイバー犯罪防止研修を実施する。						



## 情報活用能力向上のための研修会の実施

事業番号	19	優先	A	担当	指導室		
事業内容	ICTを円滑かつ効果的に活用するために、教職員対象の研修会を実施し、教員の情報活用能力の向上を図る。						
25年度目標	近隣大学と連携した教員対象のICT活用能力向上研修会を実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	教員対象にICT活用能力向上のための研修会を実施						
		実施	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果(Do)	近隣大学と連携し教員対象にICT活用能力向上研修会を実施することができた。						
評価(Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	ICT活用能力向上に重点的に取り組んでいる学校の事例を他校に紹介し、全校において校内の研修を一層充実させていく。						

## 近隣大学等の連携

事業番号	20	優先	B	担当	指導室・生涯学習課		
事業内容	東京学芸大学等と連携して開催している「青少年のための科学の祭典」の取組み等、科学技術教育を推進するために、近隣大学や企業とのさらなる連携を図る。						
25年度目標	近隣大学教授による出前授業の実施、教員研修の充実を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	出前授業、科学講座の開催の検討						
		検討	検討	試行	試行	充実	充実
25年度事業成果(Do)	近隣大学教授による出前授業を中学校で実施した。また、小学校英語教育の充実や、ICTを活用した授業改善の教員研修を実施した。						
評価(Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	次の学習指導要領の改訂を視野に、最新の情報を取り入れると共に時代に合った授業の開発を行っていく。						

## 理科支援員の配置

事業番号	21	優先	A	担当	指導室		
事業内容	小学校に理科支援員を配置し、理科の授業における観察・実験等の活動の充実を図る。						
25年度目標	理科支援員を活用し、小学校の理科授業の質の向上を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各小学校に理科支援員を配置	充実	充実	充実	充実	充実	充実
25年度事業成果 (Do)	理科支援員により、理科室等の学習環境の整備や実験・観察の安全確保ができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	理科専科の大学生や教員免許状を取得している理科支援員を確保し、理科授業の充実を図る。						

## 家庭や地域と連携した道徳教育の推進

事業番号	22	優先	A	担当	指導室		
事業内容	学校・家庭・地域の連携を生かした道徳授業を実施する。						
25年度目標	保護者や地域の方をゲストティーチャーとし、学校・家庭・地域が連携した道徳授業地区公開講座を実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道徳授業の試行	試行	試行	実施	継続	継続	全小・中学校で保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道徳授業の実施
25年度事業成果 (Do)	保護者をゲストティーチャーとして招いた道徳授業が実施できた。道徳授業推進委員会において、保護者や地域の方と連携した道徳授業の実践や効果的な連携の在り方等について検討した。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	全小・中学校教職員と保護者を対象とした道徳教育の在り方についての講演会を開く。						

## 道徳副読本の配布

事業番号	23	優先	B	担当	指導室		
事業内容	道徳教育の充実を図るために、小学校、中学校に道徳副読本を配布する。						
25年度目標	小学校高学年（第4学年～第6学年）へ道徳副読本を配布する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	小学校4～6年生に80冊ずつ配布、全学年への配布拡充の検討	検討	検討	試行	試行	試行	隔年ごとに小学校4～6年生、小学校1～3年、中学生のサイクルで配布
25年度事業成果 (Do)	小学校高学年へ道徳副読本を配布し、道徳授業の充実が図れた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	小学校、中学校における道徳副読本の活用方法とその効果を検証し、道徳副読本の更なる活用を図る。						

## 一校一運動の推進

事業番号	24	優先	A	担当	指導室		
事業内容	各校が体力向上のための重点目標を設定し、体力のさらなる向上を図るとともに運動が好きな児童・生徒の増加を図る。						
25年度目標	「一校一取組」「一学級一取組」を生かし、各校における体育的活動を意図的・計画的に実施させる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各学校における体育的活動の試行	実施	継続	継続	継続	継続	各学校における体育的活動の実施
25年度事業成果 (Do)	全小中学校で「一校一取組」の実施、小学校で「一学級一取組」を実施し、体力の向上を図ることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	各学校における特色ある体育的活動のさらなる充実を図り、生涯に渡って運動を親しむ児童・生徒を育成する。						

## 体力調査の実施

事業番号	25	優先	B	担当	指導室		
事業内容	児童・生徒の体力の実態を把握するために各校で体力調査を実施し、体力向上推進委員会を中心に分析し、体力向上施策に反映させる。						
25年度目標	全小・中学校で体力調査を実施すると共に、調査結果を生かした体育授業の改善、生活の見直しを図り、生涯に渡って運動に親しみ、健康を維持する素地を養う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体力向上推進委員会の設置、体力調査の検討	検討	検討	試行	試行	試行	小学校5年生と中学校2年生の体力調査の実施及び結果分析の委託
25年度事業成果 (Do)	体力向上推進委員会を中心に体力調査結果の分析を行い、全小・中学校の体育的活動の改善を図ることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	体力調査の実施及び結果の分析を行い、体育の授業改善を図ると共に、地域や学校の体育的行事への参加意欲を増進させる。						

## 食育の推進

事業番号	26	優先	C	担当	学務課・指導室		
事業内容	各小・中学校の食育リーダーの教員を中心に食に関する指導を計画的に進める。食育リーダー会議で食に関する学習の実践・研究を行い、学校での食育の推進とともに家庭における食生活の大切さの理解を図る。						
25年度目標	食育全体計画を充実させ、学校教育全体で行う食育に関する授業の充実を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校での食に関する指導の計画策定リーフレットの検討	検討	検討	検討	検討	試行	家庭での食生活に関するリーフレットの作成・配布
25年度事業成果 (Do)	市内全校で食育全体計画を作成し、江戸東京野菜を活用した給食の献立作りや学校教育全体で行う食育に関する学習の充実を図り、健康な食生活についての理解と実践力を育むことができた。 また、食育リーダー会議では、「食の歳時記おもしろ話」というテーマで講演会を行い、家庭における食生活の大切さについて理解し学校からの情報発信の知識とすることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	食に関する指導計画の策定は定着しており、各学校で取り組みや授業を実施している。今後は、食育の一層の推進を図るとともに、家庭での食生活に関するリーフレットについて具体的な内容の検討を行っていく。給食指導をはじめとする学校で取り組む食育について、給食便りや学校ホームページ等を通じて、児童・生徒及び家庭に広く伝え、学校、家庭が連携した食育の推進を図る。						

特別支援教室の確保							
事業番号	27	優先	B	担当	庶務課・学務課・指導室		
事業内容	特別な支援が必要な児童・生徒への支援をさらに充実させるために特別支援教室を設置する。						
25年度目標	市内小中学校に特別支援教室の必要性を周知し、設置可能な学校から特別支援教室の設置を目指す。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	試行	試行	充実	各校に特別支援教室を設置
25年度事業成果 (Do)	校長会、設置校長会、特別支援教育研修会を利用し特別支援教室の必要性を周知した。小学校4校、中学校2校の計6校に特別支援教室を設置した。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度に特別支援教室を設置した学校での実践等を検証し、小金井市の特別支援教室の活用についてガイドラインを作成する。また、東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画を参考に特別支援教室を活用した小金井市における重層的な支援体制の構築を図る。						

特別支援学級の増設							
事業番号	28	優先	A	担当	庶務課・学務課・指導室		
事業内容	計画的に特別支援学級を開設することで、一人一人の児童・生徒へ対応した指導の充実を図る。						
25年度目標	市内中学校に自閉症・情緒障害固定学級を増設し、情緒障害学級（通級指導学級）を設置する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	特別支援学級（固定学級、通級指導学級）の開設を検討	試行	充実	充実	充実	充実	充実
25年度事業成果 (Do)	小金井第一中学校に自閉症・情緒障害固定学級を増設し、緑中学校に情緒障害学級（通級指導学級）を設置した。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度は新たに特別支援学級の増設、設置を行い、小金井市における特別支援学級の充実に向けた枠組みができた。今後は、特別支援学級における教育課程の編成・実施や指導内容、指導方法についての研究・開発に取り組む。						

## 特別支援教育支援員の配置

事業番号	29	優先	A	担当	指導室		
事業内容	特別支援教育支援員等の拡充を進め、特別な支援が必要な児童・生徒への支援をさらに充実させる。						
25年度目標	2人の学習指導員を市内小学校に配置する。また、1人の学習指導員を中学校に配置する。また5人の特別支援教育支援員を市内全小中学校に配置する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学習指導員を小学校に配置 中学校通級指導学級に配置 配置拡充の検討	試行	充実	充実	充実	充実	充実
25年度事業成果 (Do)	特別支援教育学習指導員については、小学校で2人、中学校で1人の計3人を配置し、平成25年度は22名の巡回指導を行った。特別支援教育支援員については、小学校、中学校で5人を配置し、週1回から2回各校に配置した。						
評価 (Check)	/	B	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	各学校では、特別な支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い、特別支援学習指導員、特別支援教育支援員の要請が増えつつある。学校からの要請や一人一人の児童・生徒のニーズに照らした指導、支援に向け、特別支援学習指導員、特別支援教育支援員の人的配置や資質向上等についての充実を図る。						

## 学校評価の推進

事業番号	30	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校経営計画に基づいた特色ある教育活動について、その重点取組等について保護者や地域に説明し、保護者や地域からの学校評価の充実を図る。						
25年度目標	市内全校で小金井市学校運営連絡会、保護者による学校関係者評価と学校自己評価を実施し、その結果の公表や説明を適切に行う。また、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	第三者評価の検討	検討	検討	検討	検討	試行	第三者評価の試行
25年度事業成果 (Do)	市内全校で年3回の小金井市学校運営連絡会、保護者アンケートなどによる学校関係者評価や学校自己評価を行い、その結果を学校便りやホームページ等により保護者、地域に説明した。また、2校の学校では学校・家庭・地域の連携協力についての研究を行った。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度は、2校の学校で学校、家庭、地域の連携についての研究を行った。今後は、学校評価等に基づいた学校、家庭、地域の連携・協力について検証する中で、有識者等を含めた第三者評価の在り方についての研究を推進する。						

### 情報教育アドバイザー派遣の充実

事業番号	31	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校に配置されたコンピュータ機器、地上デジタルテレビを活用した授業をサポートする情報教育アドバイザーを拡充して配置し、授業のサポートや情報機器のメンテナンスを行える体制をつくる。						
25年度目標	情報教育アドバイザーの業務内容を整理し学校に周知するとともに、学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	情報教育アドバイザーの拡充の検討	検討	検討	検討	検討	検討	全小・中学校へ情報教育アドバイザーを1週間に1日派遣
25年度事業成果 (Do)	学校の要請により情報教育アドバイザーを派遣し、素早く対応することができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	情報教育アドバイザーを継続していくとともに、各学校の情報教育の年間計画をもとにした情報教育アドバイザーの効果的な活用を計画する。						

### コンピュータ管理業務者派遣の充実

事業番号	32	優先	A	担当	指導室		
事業内容	コンピュータの保守、点検、整備、コンピュータ操作、活用に係る助言・相談を行うコンピュータ管理業務者を現在の1名から増員し、各学校に必要なに応じて派遣する。						
25年度目標	コンピュータ管理業務者による学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	コンピュータ管理業務 (ICT支援員) を3名増員試行	充実	充実	充実	充実	充実	コンピュータ管理業務者の増員充実
25年度事業成果 (Do)	各学校の要望に応え、早期対応・早期解決を図ることができた。						
評価 (Check)	/	B	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	コンピュータ管理業務者を今後も継続していく。						

## 教育用コンテンツ管理システムの構築

事業番号	33	優先	C	担当	庶務課・学務課・指導室・図書館		
事業内容	教員一人に1台校務用パソコンを配置し、校内LAN敷設により業務の効率化を図り校務を軽減する。さらに各学校間、市立図書館、教育委員会ともネットワークを結んでいく。						
25年度目標	校務用パソコンの活用について検討するとともに、学校図書館システムを活用する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	校内コンピュータ環境の整備、ネットワークの検討	検討	検討	検討	検討	検討	教育委員会等とのネットワークの試行
25年度事業成果(Do)	校務用パソコンで指導要録や通知表を作成し、業務効率化が図られた。システムの導入と、校内において図書委員会の児童・生徒のシステム活用により、学校図書館運営の効率化が実現した。また、児童・生徒の読書活動の推進につながった。						
評価(Check)		B	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	教職員による情報活用の実践的な研修の実施に向けて検討する。						

## スクールカウンセラー派遣の充実

事業番号	34	優先	C	担当	指導室		
事業内容	いじめ、不登校等の問題を早期発見・早期対応するために、子供たちが困っていることを気軽に相談できるように全小中学校にスクールカウンセラーを派遣する。						
25年度目標	全小・中学校のスクールカウンセラーの問題解決力の向上といじめ・不登校の未然防止、早期解決を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	全小・中学校の派遣の拡充の検討	検討	検討	検討	検討	試行	全小・中学校の派遣の充実
25年度事業成果(Do)	全小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、子供や保護者の教育相談への対応や教職員への助言など、各校の教育相談体制の充実を図り、いじめ・不登校の未然防止・早期解決を図ることができた。						
評価(Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携・協力体制を深め、いじめ、不登校、問題行動の早期対応・早期解決を図る。						



### スクールソーシャルワーカーの派遣

事業番号	35	優先	A	担当	指導室		
事業内容	不登校や虐待、問題行動傾向のある児童・生徒への指導充実を図るために、専門的な資格をもつスクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関との連絡調整を図る。						
25年度目標	市内全小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、福祉の観点からの支援を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	試行	試行	試行	試行	試行	試行	学校の要請に応じたスクールソーシャルワーカーの派遣の充実
25年度事業成果 (Do)	スクールソーシャルワーカーの派遣により、各小・中学校の教育相談体制の充実及び家庭への直接的な支援を図ることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携・協力体制を深め、いじめ、不登校、問題行動の早期対応・早期解決を図る。						

### 特別支援学級の冷暖房設備の整備

事業番号	36	優先	A	担当	庶務課・学務課		
事業内容	特別支援学級には、体温調節が苦手な児童・生徒が在籍することから、子どもたちが集中して学習できるように、冷暖房設備の設置を進める。						
25年度目標	25年度新設の特別支援学級の冷暖房を整備する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	梅の実学級、6組の教室に冷暖房設備の設置の試行	充実	充実	充実	充実	充実	梅の実学級、さくら学級の各教室に設置
25年度事業成果 (Do)	25年度当初から、新設の特別支援学級に冷暖房を設置した。						
評価 (Check)	/	S	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	引き続き、特別支援学級の冷暖房の整備を進める。						

### 校庭の芝生化の推進

事業番号	37	優先	A	担当	庶務課		
事業内容	校庭の芝生化等による緑化を行い、ゆとりと潤いのある教育環境をつくることに加え、環境保全の意識の向上を図る。						
25年度目標	市立中学校 1 校の校庭を芝生化する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	校庭芝生化の試行	充実	充実	充実	充実	充実	校庭芝生化の充実
25年度事業成果 (Do)	目標達成はできなかったが、今後に向けて引き続き検討を行った。						
評価 (Check)	/	A	A	C	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	14校中5校の芝生化を完了したが、将来的な全校実施に向け、学校や校庭利用団体等の芝生化への理解促進に努める。また、芝生化が完了した学校への維持管理方法の指導などのサポートを行っていく必要がある。						

### 太陽光発電や風力発電の推進

事業番号	38	優先	A	担当	庶務課		
事業内容	学校へ太陽光発電や風力発電の導入をする事で、温室効果ガス排出量の削減を図るとともに環境問題や環境保全の学習に活用する事を目的とした事業						
25年度目標	市立小中学校に太陽光発電や風力発電を導入する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	設置校での取組成果の周知と設置の試行	充実	充実	充実	充実	充実	設置の充実
25年度事業成果 (Do)	目標達成はできなかったが、今後に向けて引き続き検討を行った。						
評価 (Check)	/	A	C	C	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	太陽光発電や風力発電の整備については、各学校の実情に応じ、計画的に行っていく必要がある。						

# 点検及び評価表（生涯学習）

## 1 概要

生涯学習では、小金井市教育委員会の基本方針及び第2次小金井市生涯学習推進計画に基づいた平成25年度教育施策を推進するための様々な事業を展開し、点検及び評価に当たっては、27事業を評価対象とした。

平成25年度については、全27事業中22事業についてA評価「概ね達成している」と評価した。

事業全体の8割以上がA評価となったことは、生涯学習における事業が大きな問題なく推進できているものと評価する。

具体的に前年度の評価結果と比較すると、「青少年のための科学の祭典」は評価Aから評価Sとなった。これは来場者数の目標達成、中学生ボランティアによる社会体験など、当該年度目標及び事業目標が達成できたためS評価「達成している」とした。

「市民体育祭」は評価Aから評価Bとなった。これは来場者数が減少傾向にあり、当該年度目標が達成できなかったためB評価「ある程度達成している」とした。

特に平成25年度の大きな事業であった「スポーツ祭東京2013開催事業」「(仮称)貫井北町地域センター図書館分室開設事業」「(仮称)貫井北町地域センター建設事業」については、滞りなく事業が実施できたためA評価及びS評価とした。

今後は、A評価の事業はS評価に、B評価の事業はまずはA評価にすべく、担当課が中心となり小・中学校、関係部局、関係諸機関と連携し、事業目標の達成に向けて課題の解決を図っていくこととする。

## 2 評価結果総括

	事業数	S	A	B	C	D
(1) 生涯学習の推進	5	1	3	1		
(2) 青少年教育の推進	3		3			
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	4	1	2	1		
(4) 文化財の保存と啓発活動	4		4			
(5) 公民館の充実	3		3			
(6) 図書館の充実	3		3			
(7) 社会教育施設の整備	5	1	4			
合計	27	3	22	2	0	0
内訳(%)		11%	82%	7%	0%	0%

### 3 評価表

まなびあい出前講座							
事業番号	39	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市民・団体が主催する学習会に、市役所・警察署・消防署や各種団体・企業の職員が出向き、担当事業などについての講演・講座を実施することにより、市民の生涯学習活動を支援する。						
25年度目標	実施回数55回、聴講者数1,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	出前講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果(Do)	実施回数34回、聴講者数653人						
評価(Check)		-	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	市民のニーズに的確に対応するため、新規事業等、新たに講座として追加できるものがないか毎年確認等を行っている。今後もアンケート等を参考に柔軟な対応をし、継続して実施する。						

青少年のための科学の祭典							
事業番号	40	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	教育・研究機関及び各種企業・団体等との連携により、実験やものづくりブースなど、青少年に科学の楽しさ・不思議さを体験してもらいイベントを開催する。中学生のボランティアも募り、社会体験の場を与えている。						
25年度目標	来場者数8,000人、中学生ボランティア100人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	科学の祭典の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果(Do)	来場者数8,340人、中学生ボランティア57人						
評価(Check)		A	A	S			
進捗状況と今後の展開(Action)	今後も引き続き無事故で開催できるよう万全の対策を図る。中学生ボランティアについては、中学生の意識は高いものの、部活等の日程と重なってしまうなど止むを得ない状況もあるが、反省会や打合せ会議等での意見を活かし、さらなる来場者数の増加を目指す。						

中近東歴史文化講座							
事業番号	41	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	中近東文化センターと連携し、市民や中学生を対象とした中近東に関する歴史、文化及び美術等を主題とした講座を開催する。						
25年度目標	延べ参加者150人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	中近東歴史文化講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	延べ参加者96人						
評価 (Check)		B	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度から中近東文化センターが博物館と図書館の一般公開終了に伴い、実施内容の変等見直しが必要となった。						

ボランティアセミナー							
事業番号	42	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	小平市、国分寺市、小金井市、東京学芸大学と連携し、コーディネーターや学習アドバイザーなどのボランティアを養成する講座を開催する。						
25年度目標	受講者数160人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	ボランティアの向上に関する三市・学芸大連携講座	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	延べ受講者数52人						
評価 (Check)		-	B	B			
進捗状況と今後の展開 (Action)	講座を受講された方が地域で活動できる場所が十分に確保されていないため、今後は活動の場の提供が必要となる。						

### 団塊の世代のための地域参加講座

事業番号	43	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	定年対象を迎える方等を対象に、市の歴史、地域活動や暮らし方などを紹介する講座を開催する。						
25年度目標	講座参加者数200人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	団塊の世代のための地域参加講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	講座参加者数延べ93人						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	受講者の追跡調査等を行い、地域活動への参加状況を把握するとともに、講座内容の更なる充実を目指す。						

### 家庭教育学級

事業番号	44	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	家庭教育の諸問題、家族関係、子どもの健康や遊び、文化等をテーマとした講座・講演・イベント等を各校年1回企画・実施する。						
25年度目標	実施回数14講座、参加者数2,800人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	家庭教育学級開設	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	実施回数14講座、参加者数2,770人						
評価 (Check)	/	-	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	適正に実施されるよう、今後も事業目的の理解の徹底を図りつつ、実施を継続する。						

## 放課後子ども教室

事業番号	45	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	放課後や週末等に学校施設等を活用し、地域の方々の参画を得て、読書教室や工作教室、校庭遊び等を実施する。						
25年度目標	参加人数26,000人、実施回数550回						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	放課後子ども教室の実施	継続	継続	充実	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	参加人数30,957人、実施回数790回						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度から、各小学校区に1人ずつコーディネーターを配置することができた。これにより、学校・地域・行政の連携、校区間の調整を密にし、より円滑な運営を目指す。						

## 少年自然の家維持管理事業

事業番号	46	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	少年自然の家（清里山荘）を、自然の中で気軽に利用でき親しみのもてる施設、安全で利用しやすい施設とすることを基本として、指定管理者制度を導入し効率的・経済的に管理運営する。						
25年度目標	利用者数10,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	少年自然の家維持管理	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	利用者数8,864人						
評価 (Check)	/	-	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	障害のある方のための部屋の浴室の使い勝手の改善や、団体棟のトイレの改修など課題への対応及び計画的な施設の改修等を行い、安全な運営と更なる利用促進を図る。						

## 市民体育祭

事業番号	47	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会をつくり、スポーツを通じた健康の維持増進を図る。水泳、野球、テニス、卓球、弓道、ラジオ体操等、全29種目の大会を実施する。						
25年度目標	延べ参加者数8,031人（平成24年度実績）						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市民体育祭の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	延べ参加者数7,369人						
評価 (Check)	/	A	A	B	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	参加者数が減少傾向にある。工事等で施設が使用できない場合の会場の確保が課題である。近隣市や市内大学等との連携を図り、会場の確保に努める。						

## 体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業

事業番号	48	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	スポーツ行政に深く関わりのある体育協会と総合型地域スポーツクラブに対して、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。スポーツ団体への運営経費を補助することにより、スポーツの振興を図る。						
25年度目標	婦人子供スポーツ大会参加者数1,600人、各種共催大会参加者数8,400人 卓球教室参加者数1,700人、ティーボール大会参加者数220人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	婦人子供スポーツ大会参加者数1,311人、各種共催大会参加者数8,078人 卓球教室参加者数1,680人、ティーボール大会参加者数220人						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	各団体の役割に応じた事業実施、補助金額の妥当性について、定期的に確認・見直しを図りながら団体の活動に対し補助をしていく。						



## スポーツ推進委員事業

事業番号	49	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	スポーツ推進委員を委嘱、育成し、スポーツの推進に係る体制の整備を図る。スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を行うとともに、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行えるよう育成を行う。						
25年度目標	定例会参加率100% 研修会等への参加人数延べ70人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	スポーツ推進委員事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	定例会を9回開催（参加率92.8%） 研修会等への参加10回（延べ71人）						
評価 (Check)		A	B	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度はニュースポーツ出前教室の実施、スポーツ推進委員制度50周年記念誌を発行した。 定例会の参加率100%、研修会参加率の増を引き続き目指す。						

## スポーツ祭東京2013開催事業

事業番号	50	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	第68回国民体育大会開催方針に基づき、スポーツ祭東京2013として、市民の英知とエネルギーを結集し、総力を挙げて、魅力と感動あふれる大会を実現する。						
25年度目標	スポーツ祭東京2013本大会（弓道競技会及びバスケットボール競技会）の施設整備、円滑な運営を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	-	-	-	実施	-	-	
25年度事業成果 (Do)	弓道競技会参加人数314人、大会関係者：延1,759人、観客数：17,008人 バスケットボール競技会参加人数1,032人、大会関係者：延670人、観客数：6,596人						
評価 (Check)		-	-	S			
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度本大会実施で事業は終了した。						

### 文化財センター維持管理事業

事業番号	51	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市指定史跡である旧浴恩館を保存公開するとともに、同建物を文化財センターとして活用し、郷土の歴史、民俗等に関する資料、保管、展示を行う。						
25年度目標	入館者数4,200人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	文化財センター維持管理	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果(Do)	入館者数3,557人						
評価(Check)	/	-	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	旧浴恩館及び及び施設内の文化財等を守るため、防犯・防火対策を強化する必要がある。						

### 市史編さん活動

事業番号	52	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	小金井市の歴史を学術的に振り返り、今後の市政の発展や、市民の郷土意識の向上のため、小金井市史資料編4冊及び通史編1冊を刊行する。						
25年度目標	小金井市史資料編（近代）、市史編さん資料集第53編の発行						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	市史編さん活動の実施	充実	充実	実施	充実	実施	-
25年度事業成果(Do)	小金井市史資料編（近代）、市史編さん資料集第53編の発行						
評価(Check)	/	B	B	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	平成25年11月、事業計画を変更。市史の発行は27年度に現代編、28年度に近世編、29年度に考古編、30年度に通史を発行予定。						

## 古文書講座

事業番号	53	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	古文書の専門家に講師を依頼し、小金井市文化財センターにおいて年3回講座を実施する。						
25年度目標	受講者60人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	古文書講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	受講者52人						
評価 (Check)		-	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	古文書に興味のある方へ基礎知識の習得を支援するとともに、今後も継続して実施し、受講後、古文書に興味をもった方が自主活動グループへ参加する方がいるので、新たな人材確保につなげ市史編さん等に協力していただく人材として育成する。						

## 名勝小金井（サクラ）復活プロジェクト

事業番号	54	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	「玉川上水・小金井桜整備活用計画」（平成22年3月策定）に基づき、関係機関・市民と協働で史跡玉川上水及び名勝小金井（サクラ）のよりよい整備活用を図る。						
25年度目標	名勝小金井（サクラ）モデル整備区間における桜並木復活事業の検証にあたり、より多くの近隣住民の意見を聞くためアンケートを実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	名勝小金井（サクラ）復活プロジェクトの実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	名勝小金井（サクラ）モデル整備区間における桜並木復活事業の検証にあたり、より多くの近隣住民の意見を聞くためアンケートを実施した。（800戸に調査、253戸（31.6%）の回答を得た。学識経験者3名により、人道橋及び緑道の整備について検討することができた。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	ヤマザクラ並木の整備については、モデル区間以外の整備に係る調整が必要。人道橋の整備については、都水道局や文化庁との調整後、近隣住民への説明の上、工事を進めている。						

### 青年国際交流講座「生活日本語教室」

事業番号	55	優先	-	担当	公民館		
事業内容	日本語の日常会話に不自由している市内在住及び近隣の外国人に対して、ボランティアスタッフが、毎週土曜日の午前中、市民生活に必要な日常会話の学習を支援するほか、各種イベントを開催し、外国籍市民との交流活動を推進する。						
25年度目標	参加者の日本語の日常会話の技術向上と、参加者同士及びスタッフとのコミュニケーションの向上により、参加者の日本文化への理解を深めてもらう。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントなどを通じた外国籍市民との交流活動	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	年間43回、延参加人数1,040人。日本語学習のほか、七夕、バス研修、新年会、日本文化体験等のイベントを開催した。						
評価 (Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	引き続き、市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントを開催し、外国籍市民との交流活動を行う。						

### ITサポート事業「こがねいパソコン相談室」

事業番号	56	優先	-	担当	公民館		
事業内容	ITボランティアの協力により、各公民館で毎週水曜・日曜日の午後1時から3時まで、予約なしで無料のパソコン相談を開催						
25年度目標	市民のデジタルディバイド（情報格差）の解消を図るため、個々人のパソコン操作に伴うスキルアップやパソコンに関する具体的な問題について解決する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市民個々人のパソコン操作に関するスキルアップやパソコンに関する具体的な問題の解決	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	年間相談回数457回、延相談者数1,018人。多くの市民の相談に応じることができ、パソコン操作のスキルアップ、パソコンに関する具体的な問題の解決が図られた。						
評価 (Check)		B	B	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	より多くの市民に利用していただけるよう、様々なPR方法について研究する。情報機器は日進月歩で進歩する中、相談内容も高度化しているため、ボランティアの更なる自主的な研鑽を行うことで様々な相談に対応するため、相談室を継続する。						

## 市民がつくる自主講座

事業番号	57	優先	-	担当	公民館		
事業内容	公共性のある地域課題、生活課題について市民自身が講座を企画運営することの重要性が増している。市民自身の手による学習活動を支援し、地域の生涯学習活動の活性化に寄与する。						
25年度目標	多くの団体の要望に応えるとともに幅広い内容の講座を実施し、合わせて自主グループ化を目指す。今年度は男女共同参画部門を加えることにより、より一層の市民の中の自主的な学習意欲を喚起・保障するとともに、市民の学習範囲を広げる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	市民による様々な地域課題についての講座開設に対する支援	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果(Do)	10講座、男女共同参画部門5講座、計15講座。延参加者数624人。講座の内容がさまざまな分野におよび、普段公民館を利用していない方々の参加も多かった。						
評価(Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	公共性のある地域の生活課題の解決のために、市民自身が講座を企画運営することは重要であるため、今後も継続する。募集枠に対して、応募者が増加している。選考の公平性、透明性を確保すると同時に、できるだけ多くの応募を受け入れるために、開催回数の調整等も必要であると考えている。						

## ハンディキャップサービス事業

事業番号	58	優先	-	担当	図書館		
事業内容	小金井市立図書館処務規定第4条及び小金井市立図書館ハンディキャップサービス実施要綱により、視覚障がいをお持ちの方等を対象とした図書を作成し、読書の機会の拡充を図る。						
25年度目標	デージー図書作成：3タイトル 点字図書作成：3タイトル 録音図書作成：3タイトル 他館貸出：録音テープ 10タイトル、デージー図書 5タイトル 他館借用：録音テープ 5タイトル、デージー図書 10タイトル						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果(Do)	デージー図書作成：5タイトル 点字図書作成：3タイトル 録音図書作成：2タイトル 他館貸出：録音テープ 13タイトル、デージー図書 3タイトル 他館借用：録音テープ 1タイトル、デージー図書 9タイトル						
評価(Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	講習会等を開催し、各方面のボランティアの育成に努める。また、広報等でより多くの方が図書館を利用できるように努める。						

(仮称) 貫井北町地域センター図書館分室開設事業

事業番号	59	優先	-	担当	図書館		
事業内容	(仮称) 貫井北町地域センター図書館分室の平成26年4月開館に向けて準備を行う。						
25年度目標	新規図書の購入 8,500冊 移管する図書 10,000冊						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	実施	継続	-	-	-
25年度事業成果 (Do)	新規図書の購入 8,829冊 移管した図書 9,707冊						
評価 (Check)		-	B	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	25年度目標をほぼ達成し、平成26年4月1日に図書館貫井北分室が開館し、一定成果を上げた。						

図書館児童サービス事業

事業番号	60	優先	-	担当	図書館		
事業内容	児童に対する読書活動の推進を図るため、「おはなし会」等を実施する。						
25年度目標	おはなし会 延べ参加者数約1,300人 (24年度は開催回数71回、延べ参加者数1,337人)						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果 (Do)	おはなし会：開催回数73回、延べ参加者数1,241人 子どもと読書に関する講座：開催回数5回、延べ参加者数74人						
評価 (Check)		-	A	A			
進捗状況と今後の展開 (Action)	子ども読書活動推進計画に沿って展開していく。また、広く啓発活動を行い、参加人数を増やすよう努める。						

### 総合体育館維持管理事業

事業番号	61	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	総合体育館を、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として供するため、指定管理者制度を導入し、効率的・経済的に管理運営する。個人・団体ともに利用しやすく、安全を確保するため、施設及び設備整備の充実を図る。						
25年度目標	総合体育館利用者数290,000人 国体準備のため、大規模改修工事は実施せず、大体育室照明設備改修工事を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	総合体育館維持管理事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	総合体育館利用者数286,766人 大体育室照明設備改修工事を行い、国体を開催できる照度にした。						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成26年度以降、計画に対し1年遅れで順次整備を進めていく。						

### スポーツ開放・学校開放事業

事業番号	62	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市内小中学校の体育施設や総合体育館及び栗山公園健康運動センターのプールを地域開放する。体育施設を地域開放することで、市民のスポーツ活動の場を確保し、より多くの市民にスポーツの機会を提供する。						
25年度目標	スポーツ開放校参加者数3,400人、土曜スポーツクラブ参加者数450人、一中クラブハウス11,100人、南中テニスコート70人、プール無料開放2,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	スポーツ開放・学校開放事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	-
25年度事業成果 (Do)	スポーツ開放校参加者数3,435人、土曜スポーツクラブ参加者数304人、一中クラブハウス9,874人、南中テニスコート75人、プール無料開放2,092人						
評価 (Check)	/	A	A	A	/	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	市内各学校においても地域住民のために夜間や休日の貸し出しを行っており、飽和状態にある。引き続き、学校との連携を図りつつ、施設の有効利用をしていきたい。						

図書館維持管理業務							
事業番号	63	優先	-	担当	図書館		
事業内容	適切な施設の維持管理を図り、利用者に安全で快適な読書環境を提供する。						
25年度目標	修繕計画に基づき、利用者に安全で快適な読書環境を提供するため、早急に修繕が必要な箇所から修繕する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果(Do)	【平成25年度に行った主な施設修繕等】 ・自家用電気工作物（キュービクル）修繕 ・ブックポスト修繕 ・別館昇降機修繕 ・自火報受信機蓄電池等交換						
評価(Check)		A	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	昭和50年開館の図書館本館は老朽化が進んでおり、順次、修繕している状況である。今後は利用者等の安全を確保する為、緊急性のある箇所から順次改修工事を行う。						

公民館維持管理事業							
事業番号	64	優先	-	担当	公民館		
事業内容	施設の整備を図り、利用者への利便に供した。						
25年度目標	公民館本館は昭和43年建設の福祉会館内の施設であり、最新の緑センターも平成3年開設の施設であり、全体的に老朽化した施設である。公民館5館の安全、安心、快適な施設環境を市民に提供するために、故障箇所を修繕し、整備を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	公民館施設の維持管理に必要な各種業務の実施を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	継続
25年度事業成果(Do)	建築営繕課委託業者による昨年度の建築基準法上の指摘事項である、非常照明灯、誘導灯バッテリー修繕等を含む緊急修繕25項目を実施し、施設の安全な利用上必要な整備を行った。						
評価(Check)		S	A	A			
進捗状況と今後の展開(Action)	公共施設の維持管理に必要な保守点検及び、故障箇所の修繕を行うと共に、今後計画的な改修工事の実現のため、中期的な大規模改修計画策定の検討と補助金の活用を図り、整備していく。						



(仮称) 貫井北町地域センター建設事業

事業番号	65	優先	-	担当	公民館		
事業内容	(仮称) 貫井北町地域センター建設工事を完了させ、4月開館に向けて、カーテン、ブラインド <sup>*</sup> 他、調度品、視聴覚機材、消耗品等生涯学習施設に必要な環境を整える。						
25年度目標	(仮称) 貫井北町地域センター建設工事を計画どおり完了させ、4月開館に向けて必要な準備を行う。						

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	市民検討委員会による建設基本設計検討	実施設計検討	確認申請、工事	工事	開館	-	-

25年度事業成果(Do)	従来の市の社会教育施設にはない、多彩な空間の演出が可能となる機能、円形のお話室、バリアフリーに配慮した設備、環境に配慮し、設置された太陽光パネル等、これからの生涯学習施設として、多くの市民の方の思いの詰まった施設が完成した。						
--------------	--	--	--	--	--	--	--

評価(Check)		-	A	S			
-----------	--	---	---	---	--	--	--

進捗状況と今後の展開(Action)	当初の計画どおり、平成26年4月の開館にあわせて、平成26年1月に竣工し、4月開館に向けた準備も修了したため、事業が完了した。						
--------------------	---	--	--	--	--	--	--

## 平成26年度 点検・評価に関する有識者の意見

小金井市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項及び小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、平成26年度（平成25年度評価分）における小金井市教育委員会の点検及び評価を実施するに当たり、有識者から御意見をいただきました。

### 朝岡 幸彦 委員（東京農工大学大学院 農学研究院 教授）

点検・評価に係る少なからぬ業務に着実に取り組み、対象事業のほとんどで「A」評価がつけられている努力を高く評価できる。また、昨年度の評価意見に基づいて評価方法の改善が行われていることも好感される。

こうした改善努力を評価した上で、評価方法及び記述の仕方に関して以下の点を検討されたい。

- (1) 「目標」の記述の仕方が担当部署によって、ややばらつきがあり、数値のみの記述（生涯学習分野に目立つ）は避ける一方、可能な限り数値目標を入れる努力が望まれる（学校教育分野）。とくに、数値化しにくい事業があることを尊重しつつも、「研究する」「検討する」「協議する」などの具体的な成果を問われない目標設定をできるだけ避け、検証可能な記述を心掛けてほしい。
- (2) 「S」～「D」の評価基準がやや甘めにずれてきているように思われる。とくに「S」＝「達成している」、「A」＝「概ね達成している」という判断基準は、通常の5段階評定の目安とはずれており、「S」＝「目標を超えて達成している」、「A」＝「達成している」とすべきであると思われる。極端に見えるほど「A」評価が多い理由も、評価基準のズレが一因であると思われる。また、数値目標を掲げた場合には、目標数値を達成もしくは近接した数値（90%以上）となっていないものを「A」評価すべきではない。評価は課題を発見して改善するためのものであり、曖昧な表現や解釈で問題を見過ごすことのないように期待したい。
- (3) 「優先度」（A～C）が目標達成年次に対応していることを踏まえ、「優先度 A（H24年度までに達成）」のようにすでに過年度で達成された目標の表記を別途工夫する必要がある。原則的には、目標を達成できていない（もしくは毎年達成する必要のある）事業を重点的に評価・改善すべきであろう。

来年度以降、地教行法の改正を受けて（事実上）新たな教育行政の枠組みが施行されることを踏まえ、市民の目線を意識した特色ある教育施策の立案・実施・評価が期待される。

### 藤井 穂高 委員（筑波大学 人間系教授）

教育委員会が、その権限に属する事務の実施状況につき、点検・評価を行い、かつ、それを公表することは、信頼される教育行政を推進する上で重要な意義を有する。小金井市においてもこの取組が7年目を迎え、制度として定着してきた。評価

表の形式も毎年改善されており、だいぶすっきりした印象を受けた。

平成 26 年度の点検・評価の対象となる 65 の事業について、S または A 評価が全体の 9 割以上を占めていることは、行政の安定的な実施の観点から、まずは評価されるべき点である。

事業の構成やその内容をみると、学校教育については、子どもの学習に関する実態把握、授業力向上研修会の実施、補習授業等の充実等による「わかる・できる・活かす授業」の充実、教育副読本の配布や家庭・地域と連携による道德教育の推進、体力調査の実施や食育の推進による体力の向上など、学校教育の基本となる知・徳・体のバランスに適切に配慮した事業が行われている。

こうした事業のうち、特に重要な教員の授業力の向上については、「明日の小金井教育プラン」の年次計画では時間がかかりすぎるように思う。小金井市の場合、他の市区町村に見られる小中一貫教育やコミュニティ・スクールも施策に入れておらず、その分、学校教育本来の仕事に集中できると考えると、授業力の向上にもう少し焦点を当てることができるのではないかな。

また、生涯学習では、家庭教育学級から団塊の世代のための地域参加講座まで幅広い事業を含む生涯学習の推進、スポーツ祭東京 2013 開催も加えたスポーツ・レクリエーション活動の充実、文化財の保存と啓発活動、社会教育施設、公民館や図書館の充実（特に貫井北町地域センター図書館分室の開設）と、こちらも総合的な事業が展開されている。生涯学習については、学校教育と比較して事業を縮小する自治体も多くみられるが、教育委員会にしかできない事業を見極めて、今後ともこうした生涯学習の条件整備に向けた積極的な取り組みに期待したい。

最後に、今後、「明日の小金井教育プラン」の改訂も予定されていると聞く。こうした教育委員会評価の結果を踏まえた改訂を望みたい。

## 木村 洋子 委員（元小金井市立前原小学校長）

「明日の小金井教育プラン」「生涯学習推進計画」に基づいた評価が始まって 3 年目を迎えた。評価結果は、学校教育、生涯学習のどちらの事業も 9 割を超えて達成されている状況から教育委員会の推進状況はおおいに評価できると言ってよい。65 という多くの事業を推進していくことには、ご苦労も多かったと思われる。

今回の評価報告書は、評価方法や評価表などに改善がなされていて、見やすくなった。事業内容・当該年度の目標・計画・成果・評価・今後への展開という流れで記述されていたので、評価の経過や評価の内容が分かりやすく伝わってきた。教育委員会として継続する事業については、その内容を具体的に示そうという努力が伺えた。

さらに改善する方向として、成果がどういう観点で評価されたのかがわかるように当該年度の計画（数値的な目標、具体的な活動内容の両面から）をより明確に記述していくことが必要であると考え。特に学校教育の事業は数値的な目標（数値化するの難しい事業もあると思われるが）、生涯学習の事業は具体的な活動内容が見えにくかった。計画が明確であれば、評価基準との整合性が出て、評価の意味や今後の課題が見えやすくなる。また、平成 28 年度を最終目標にしている事業の中には、すでにかんりの内容で達成できているものや、実施していく中で状況が違って

きたり、別の課題が見えてきたりと、今後の活動を検討していかなくてはならない事業も出てきていると思われる。当該年度の計画の段階でこの評価を効果的に活用できるようにしていきたい。

今後も教育委員会として、小金井の子どもたち、市民の皆様がいきいきと学んでいく環境を整えるために、工夫改善を重ねていかれるよう期待している。

## 参考資料

### 1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）

（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱（平成 21 年 10 月 28 日制定）

（目的）

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条第 1 項の規定に基づき、小金井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ることを目的とする。

（実施方法）

第 2 条 点検及び評価は、小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）を対象とする。

2 点検及び評価は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年度 1 回実施する。

3 教育委員会は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況等を取りまとめ、次条の点検及び評価に関する有識者の意見を聴取した上で、点検及び評価を行うものとする。

（点検及び評価に関する有識者）

第 3 条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置く。

2 有識者の定数は、3 人以内とする。

3 有識者は、教育に関して学識を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は、3 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 有識者に欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議会報告及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価に関する報告書を作成して小金井市議会へ提出するとともに、公表するものとする。

(庶務)

第5条 点検及び評価の実施に関する庶務は、学校教育部庶務課において行う。

付 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成20年10月28日から施行する。

(経過措置)

2 平成20年度に実施する点検及び評価に限り、第2条第1項中「小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）」とあるのは、「小金井市教育委員会の基本方針に基づく学校教育の指導目標、社会教育の目標」とする。

### 3 平成25年度教育委員会運営状況

#### (1) 会 議

定例教育委員会	12回
臨時教育委員会	6回

#### (2) 委 員

委員名	任 期	備 考
伊藤 恒子	自 22. 4. 1 至 26. 3. 31	委員長 平成25年4月1日～ 平成26年3月31日 平成26年3月31日退任
鮎川 志津子	自 24. 12. 1 至 28. 11. 30	職務代理者 平成24年12月5日指定
高木 裕	自 21. 7. 11 至 25. 7. 10	平成25年7月10日退任
宮本 誠	自 22. 4. 1 至 26. 3. 31	平成26年3月31日退任
津幡 道夫	自 24. 4. 1 至 27. 9. 30	教育長 平成24年4月1日任命 平成25年10月31日退任
渡邊 恭秀	自 25. 7. 11 至 29. 7. 10	平成26年7月11日就任
山本 修司	自 26. 1. 6 至 27. 9. 30	教育長 平成26年1月6日任命

## (3) 定例会・臨時会の審議事項

会議名 年月日	審議事項	審議事項
第1回 臨時会 25.4.1	選第1号	小金井市教育委員会委員長の選挙について
第4回 定例会 25.4.9	報告事項	1 平成25年度教育委員会の主な事業について 2 平成25年度学級編制について 3 寄附の収受について 4 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 5 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について 6 平成25年度研究奨励校等について 7 図書館運営方針改訂版の策定について 8 その他 9 今後の日程
第2回 臨時会 25.5.7	協議第3号	学校給食の新しい経営方法について
第5回 定例会 25.5.14	選第2号 報告事項	小金井市奨学資金運営委員会委員の推薦について 1 小金井市奨学資金の応募状況について 2 小学校給食調理業務について 3 小学校オーケストラ鑑賞教室について 4 中学校合唱鑑賞教室について 5 ウォーキングフェスタ東京について 6 文化財センター企画展について 7 スポーツ祭東京2013について 8 その他 9 今後の日程
第6回 定例会 25.5.28	議案第11号 議案第12号 議案第13号 報告事項  代処第5号 議案第14号 議案第15号	教育委員会事業場安全衛生委員会委員の任命について 小金井市立前原小学校学校薬剤師の解嘱について 小金井市立前原小学校学校薬剤師の委嘱について 1 小学校給食調理業務について 2 その他 3 今後の日程 職員の人事上の措置に関する代理処理について 職員の分限処分について 職員の人事異動について
第3回 臨時会	議案第16号	小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼について

25.6.5		
第 7 回 定例会 25.7.9	議案第 17 号 報告事項  代 処 第 6 号	小金井市文化財保護審議会臨時委員の委嘱について 1 平成 25 年第 2 回小金井市議会定例会について 2 海の移動教室について 3 スポーツ祭東京 2013 について 4 その他 5 今後の日程 職員 の 分 限 処 分 に 関 す る 代 理 処 理 に つ い て
第 8 回 定例会 25.7.23	報 告 事 項  代 処 第 7 号	1 「(仮称) 小金井市貫井北町地域センター図書館分 室の運営体制について」の答申について 2 その他 3 今後の日程 教 職 員 の 人 事 に 係 る 内 申 の 代 理 処 理 に つ い て
第 4 回 臨時会 25.7.26	報 告 事 項 議案第 18 号	「(仮称) 貫井北町地域センターの運営等について」(公 民館) の答申について (仮称) 小金井市貫井北町地域センター (図書館・公民 館) の事業運営について
第 9 回 定例会 25.8.27	議案第 19 号 議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号 報 告 事 項 代 処 第 8 号 代 処 第 9 号 代 処 第 10 号 代 処 第 11 号 議案第 23 号	平成 25 年度小金井市教育委員会の権限に属する事務 の管理及び執行の状況の点検及び評価について 平成 26 年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教 科用図書 の 採 択 に つ い て 小 金 井 市 社 会 教 育 委 員 の 委 嘱 に つ い て 小 金 井 市 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員 の 委 嘱 に つ い て 1 小学校第 6 学年の林間学校について 2 「名勝小金井(サクラ)復活事業」に関するアンケ ート調査結果について 3 スポーツ祭東京 2013 について 4 (仮称) 貫井北町地域センターの進捗状況について 5 その他 6 今後の日程 職 員 の 人 事 異 動 に 関 す る 代 理 処 理 に つ い て 職 員 の 分 限 処 分 に 関 す る 代 理 処 理 に つ い て 職 員 の 分 限 処 分 に 関 す る 代 理 処 理 に つ い て 職 員 の 人 事 異 動 に 関 す る 代 理 処 理 に つ い て 職 員 の 分 限 処 分 に つ い て
第 10 回 定例会 25.10.8	代 処 第 12 号 代 処 第 13 号 議案第 24 号	教育委員会事業場安全衛生委員会委員の解職に関する 代理処理について 教育委員会事業場安全衛生委員会委員の任命に関する 代理処理について 小 金 井 市 私 立 幼 稚 園 等 園 児 保 護 者 補 助 金 の 交 付 に 関 す



	<p>報 告 事 項</p> <p>代 処 第 1 4 号</p> <p>議 案 第 2 5 号</p> <p>議 案 第 2 6 号</p>	<p>る 条 例 施 行 規 則 の 一 部 を 改 正 す る 規 則</p> <p>1 平成25年第3回小金井市議会定例会について</p> <p>2 山の移動教室について</p> <p>3 その他</p> <p>4 今後の日程</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分について</p> <p>職員の退職について</p>
<p>第 5 回</p> <p>臨 時 会</p> <p>25.10.24</p>	<p>代 処 第 1 5 号</p> <p>議 案 第 2 7 号</p>	<p>小金井市奨学資金運営委員会委員の推薦に関する代理処理について</p> <p>小金井市教育委員会委員の辞職の同意について</p>
<p>第 1 1 回</p> <p>定 例 会</p> <p>25.11.12</p>	<p>代 処 第 1 6 号</p> <p>議 案 第 2 8 号</p> <p>議 案 第 2 9 号</p> <p>議 案 第 3 0 号</p> <p>議 案 第 3 1 号</p> <p>議 案 第 3 2 号</p> <p>報 告 事 項</p> <p>代 処 第 1 7 号</p> <p>代 処 第 1 8 号</p> <p>代 処 第 1 9 号</p> <p>代 処 第 2 0 号</p>	<p>小金井市図書館協議会委員の委嘱に関する代理処理について</p> <p>教育委員会事業場安全衛生委員会委員等の任命について</p> <p>小金井市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則</p> <p>小金井市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市公民館条例の一部を改正する条例の制定依頼について</p> <p>1 平成25年第3回小金井市議会定例会について</p> <p>2 平成26年度新入学児童・生徒について</p> <p>3 平成25年度結核対策委員会の開催結果について</p> <p>4 企画展「地図に見る小金井」について</p> <p>5 スポーツ祭東京2013について</p> <p>6 その他</p> <p>7 今後の日程</p> <p>職員の人事異動に関する代理処理について</p> <p>社会教育主事の任命に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の人事異動に関する代理処理について</p>
<p>第 1 2 回</p> <p>定 例 会</p> <p>25.11.26</p>	<p>報 告 事 項</p> <p>議 案 第 3 3 号</p> <p>議 案 第 3 4 号</p>	<p>1 平成25年度小金井市立小・中学校読書感想文コンクールの表彰結果について</p> <p>2 その他</p> <p>3 今後の日程</p> <p>職員の退職について</p> <p>職員の退職について</p>

<p>第 1 回 臨時会 26.1.6</p>	<p>議案第 1 号 協議第 1 号 代処第 1 号 代処第 2 号 代処第 3 号 代処第 4 号</p>	<p>小金井市教育委員会教育長の任命について 小金井市教育委員会の議席について 職員の人事異動に関する代理処理について 職員の人事異動に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について 教職員の人事に係る内申の代理処理について</p>
<p>第 1 回 定例会 26.1.14</p>	<p>議案第 2 号 協議第 2 号 報告事項</p>	<p>小金井市教育委員会の基本方針及び平成 26 年度教育施策について 小金井市文化財指定の諮問について 1 平成 25 年第 4 回小金井市議会定例会について 2 小金井市小学生マラソン大会について 3 小金井市立学校教職員の人事異動について 4 その他 5 今後の日程</p>
<p>第 2 回 定例会 26.2.18</p>	<p>議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 報告事項</p>	<p>小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程の一部を改正する規程 小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程 小金井市立清里山荘の指定管理者の指定に関する議案の提出依頼について 小金井市総合体育館及び小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者の指定に関する議案の提出依頼について 小金井市立図書館規則の一部を改正する規則 1 インフルエンザ発生状況及びノロウイルスの対応について 2 学校給食費の改定について 3 小金井市立小・中学校連合作品展について 4 小金井市教育委員会児童・生徒表彰等について 5 平成 25 年度文部科学大臣優秀教職員表彰について 6 第 5 回中学生「東京駅伝」大会について 7 平成 25 年度小金井教育フォーラムについて 8 第 2 次小金井市生涯学習推進計画の計画期間延伸について 9 第 26 回多摩郷土誌フェアについて 10 第 10 回野川駅伝について 11 第 2 次小金井市子ども読書活動推進計画の計画期間延伸について</p>

	代 処 第 5 号 代 処 第 6 号 代 処 第 7 号 議 案 第 9 号	12 貫井北センターの愛称の選考結果について 13 その他 14 今後の日程 職員の分限処分に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について 平成26年4月1日付け校長・副校長の人事異動に関する内申について
第 3 回 定 例 会 26.3.28	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 報 告 事 項  代 処 第 8 号 代 処 第 9 号 代 処 第 10 号 議案第14号	教育財産の取得の申出について 小金井市指定文化財の指定について 小金井市文化財保護審議会委員の委嘱について 小金井市スポーツ推進委員の委嘱について 1 平成26年第1回小金井市議会定例会について 2 図書館の蔵書点検の結果について 3 その他 4 今後の日程 5 平成26年度小金井市立学校長・副校長等の人事異動について 職員の分限処分に関する代理処理について 職員の併任に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について 職員の人事異動について

#### 4 平成25年度 小金井市立小・中学校 学校行事・連合行事等日程表

番号	行事等	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	本町小	緑小	南小	一中	二中	東中	緑中	南中	
1	海の移動教室(小5年)	6/3(月) ↓ 6/5(水)	6/5(水) ↓ 6/7(金)	6/10(月) ↓ 6/12(水)	5/13(月) ↓ 5/15(水)	5/15(水) ↓ 5/17(金)	5/20(月) ↓ 5/22(水)	5/22(水) ↓ 5/24(金)	5/27(月) ↓ 5/29(水)	5/29(水) ↓ 5/31(金)						
2	林間学校(小6年)	7/30(火) ↓ 8/2(金)	8/2(金) ↓ 8/5(月)	8/5(月) ↓ 8/8(木)	8/8(木) ↓ 8/11(日)	8/17(土) ↓ 8/20(火)	8/20(火) ↓ 8/23(金)	7/21(日) ↓ 7/24(水)	7/24(水) ↓ 7/27(土)	7/27(土) ↓ 7/30(火)						
3	山の移動教室(中2年)										9/19(木) ↓ 9/21(土)	6/27(木) ↓ 6/29(土)	7/4(木) ↓ 7/6(土)	9/12(木) ↓ 9/14(土)	9/17(火) ↓ 9/19(木)	
4	修学旅行(中3年)										9/24(火) ↓ 9/26(木)	9/25(木) ↓ 9/27(金)	9/3(火) ↓ 9/5(木)	9/29(日) ↓ 10/1(火)	9/19(木) ↓ 9/21(土)	
5	特別支援学級移動教室	梅の実6/27(木)～6/28(金)・さくら10/9(水)～10/10(木)・ひまわり10/17(木)～10/18(金)									G組 5/19(水)～5/21(金)・6組 5/15(水)～17(金)					
6	小学校オーケストラ鑑賞教室	4/30(火) (武蔵野市民文化会館)														
7	中学校合唱鑑賞教室	5/10(金) (武蔵野市民文化会館)														
8	連合音楽会	10/25(金) (小金井市民交流センター)														
9	連合作品展	1/24(金)～1/28(火) (小金井市民交流センター)														
10	始業式・入学式	始業式・入学式4/8(月)									始業式4/8(月) 入学式4/9(火)					
11	修了式	修了式3/24(月)									修了式3/25(火)					
12	卒業式	卒業式3/25(火)									卒業式3/19(水)					
13	周年行事	11/8(金)								11/1(金)						
14	研究発表会															
15	体育的行事	運動会 9/28(土)	運動会 5/25(土)	運動会 9/28(土)	運動会 9/28(土)	運動会 9/28(土)	運動会 6/8(土)	運動会 9/28(土)	運動会 10/5(土)	運動会 9/28(土)	運動会 6/1(土)	運動会 6/1(土)	運動会 6/1(土)	体育会 6/1(土)	体育祭 6/1(土)	
16	文化的行事	展覧会 2/14(金) ↓ 2/15(土)	展覧会 11/15(金) ↓ 11/16(土)	学習発表会 11/15(金) ↓ 11/16(土)	学習発表会 11/21(木) ↓ 11/23(土)	学芸会 11/15(金) ↓ 11/16(土)	けやき祭 11/1(金) ↓ 11/2(土)	学芸会 11/15(金) ↓ 11/16(土)	みどりの発表会 11/15(金) ↓ 11/16(土)	学習発表会 11/29(金) ↓ 11/30(土)	ふじがね祭 10/25(金)	音楽祭 10/29(火)	合唱祭 10/26(土) ↓ 10/29(火)	文化発表会 10/29(火)	合唱コンクール 10/21(月)	

小金井市教育委員会の権限に属する事務の  
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

平成26年8月発行

編集・発行 小金井市教育委員会

小金井市教育委員会事務局

小金井市前原町三丁目41番15号

☎ 042-387-9872